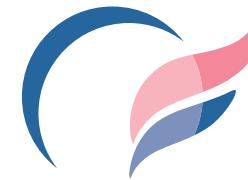
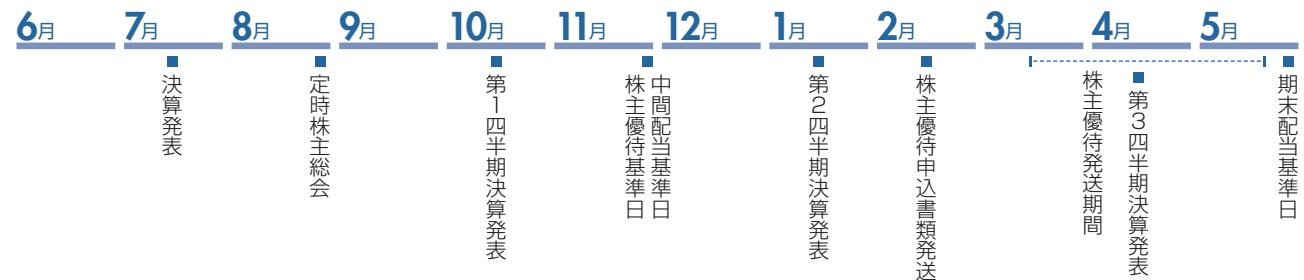


2016.6.1-2017.5.31

株主メモ

事業年度	6月1日～翌年5月31日	公告の方法	電子公告の方法によります。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	8月	公告掲載URL	https://www.pharmarise.com/
基準日	5月31日	証券コード	2796(東証一部)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社		

年間スケジュール(予定)



ファーマライズホールディングス株式会社

株主通信 平成29年5月期

株主の皆様へ

ファーマライズグループの挑戦

Top Interview

“皆様に選ばれる薬局”を目指して

グループ体系・グループ店舗数の推移・都道府県別出店状況

Topics <「ショッピングプラザ森の風」を開業 ほか>

連結決算概要

個別決算概要

会社概要

株主メモ・年間スケジュール



ファーマライズホールディングス株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央一丁目38番1号 住友中野坂上ビル
TEL 03-3362-7130 FAX 03-3362-7190

<https://www.pharmarise.com/>

証券コード 2796



To Our Shareholders

株主の皆様へ

ファーマライズグループの挑戦

—かかりつけ薬剤師・薬局、 セルフメディケーション・サポート薬局としての進化—



代表取締役会長
大野 利美知

新体制となった1年を振り返っていかがでしたか。

当社では、昨年の第30期定時株主総会后に、新たに「会長職」を設け、「代表取締役会長」「代表取締役社長」の新体制といたしました。加えて、取締役6名の半数に当たる3名を社外取締役が占める体制とし、「コーポレートガバナンスの強化」を目指してまいりました。また執行役員会議に一定の権限を委譲することで、監督（ガバナンス）と執行（マネジメント）を分離する体制整備を開始しております。これらにより、上場会社としての客観性・透明性を確保し、利益相反を排除するガバナンス体制が整えられてきたものと考えております。

当社グループのコア事業である調剤薬局事業においては、昨年4月の制度改正にみられるように、国や社会が求める変化していく薬局・薬剤師の責務や機能に対して、独自の進化を遂げ順応しなければ淘汰されてしまう程のうねりが起きております。こうした事業環境の急激な変化に対応していくために経営の強化が急務と捉えております。このため新たに会長職を設け、社長と両輪で経営に当たっていくことといたしました。現時点では、直ちに目覚ましい成果を期待できるものではありませんが、現体制は当社グループのこれからの発展に必ずや寄与していくものと考えております。

今後の調剤報酬制度における薬局のあり方や対応についてお聞かせください。

平成27年9月にセルフメディケーションを目指した「健康サポート薬局」構想が、そして同年10月には患者本位の医薬分業を実現するための「患者のための薬局ビジョン」が発表されました。その後の平成28年4月の調剤報酬改正は、これからの医薬分業の方向性を制度として示したものとなり、「かかりつけ薬剤師」がこれからの調剤薬局業務の中心になることが明白になったと理解しております。今後は、服薬・薬品情報をその患者が選択し、患者の同意を得た「かかりつけ薬剤師」が担うこととなり、また、現在検討が進められているリフィル処方箋も「かかりつけ薬剤師」だけが扱えることになると想定しています。国はその他にも患者を「かかりつけ薬剤師」の在籍する薬局に行くことを促す制度を導入していくものと考えられます。これは取りも直さず、患者が来局する薬局とそうでない薬局の二極化が進行することを意味します。

以上から、当社グループとしては「かかりつけ薬剤師」の意味を真摯に考えていくとともに、新たに、セルフメディケーションの推進と健康サポート薬局への取組みを進めてまいります。また、セルフメディケーションを推進していく上で、「薬剤師」だけではなく「登録販売者」も不可欠な資格であるとの認識のもと、医療事務従事者の登録販売者化を加速いたします。

当社グループでは、薬局の「かかりつけ薬剤師」と「登録販売者」が車の両輪のように地域医療を担っていく時代を迎えているものと理解し、更なる業務内容の進化を進めて行く所存

であります。

新たにグループ入りした株式会社ミュートスとその目的についてお聞かせください。

株式会社ミュートスは、製薬企業向けの営業支援システムの開発・保守を主な事業としており、売上高は5億円、従業員は40名強の会社であります。製薬企業向けの営業支援システムにおいては、ミュートス・ブランドは業界において広く認知されており、既に19社に導入実績があります。今後は、製薬企業の、主に営業部門に築いた事業基盤を礎に、安全性システム分野及びマーケティング分野におけるITサービスを提供する方向に、重点を移していく予定です。

一方、当社の持分法適用会社の株式会社メディカルフロントは電子お薬手帳及び医薬品データベースの開発・運用を手がけております。ミュートスの完全子会社化により、これら医療用ソフトウェア開発の拡大・効率化が見込めます。また、ミュートスの保有するシステム開発、データ分析及びデータベース設計におけるノウハウと当社グループが保有する商材及び情報を活用した新たなビジネス機会を創造していくことで、中期経営計画の基本方針の一つとして掲げた「健康保険制度外事業の拡大」を目指し、当社グループの企業価値向上に反映させてまいりたいと考えております。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

“皆様に選ばれる薬局”を目指して引き続き かかりつけ薬剤師・薬局化を協力的に推進いたします。

Q. 新体制となったこの一年を振り返っていかがでしたか。

今般の調剤報酬改定により当社グループのコア事業である調剤業務は大きな変革期を迎えました。即ち、薬剤師・医療事務担当者のスキルをより一層高め、そのスキルを十二分に発揮し高水準の医療サービスを提供することが強く求められています。こうしたなか、当社は安定した経営基盤を確立し、患者や利用者、及び医薬品卸会社を始めとするすべての取引先からの信頼に応え「選ばれる会社」を目指していくとともに、より強固なコンプライアンス態勢を整えていく取り組みを強化してまいります。昨年の第30期定時株主総会后、ガバナンスとマネジメントを分離する体制となったことを受け、昨年8月より私が代表取締役執行役員社長を務めさせて頂きました。

本体制のもと、中期経営計画にも掲げております「投資家の皆様に選ばれる」ための施策についても強力に推進してまいりました。具体的に、当期は計36店舗について運営会社の変更を行い、開局・閉局等につきましても、調剤薬局を6店舗、ドラッグストアを6店舗、オープンする一方、調剤薬局10店舗を閉局、譲渡するなど、着実な成長と経営効率向上を図ってまい

りました。

また、調剤薬局事業においては技術料の積み上げ等、まずは健闘したものと考えておりますが、物販部門においては計画比未達となり、事業基盤の拡大や収益の改善等の課題が残るものと認識していますので、今後とも「投資家の皆様に選ばれる」ための施策を着実に実施していきたいと考えております。

Q. 当期(平成28年6月1日～平成29年5月31日)の業績について教えてください。

売上高につきましては、前期比9.1%増収の52,949百万円となりました。これは、物販事業が薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の通年寄与により、5,640百万円の増収となる一方で、調剤薬局事業では「昨年4月の薬価改定の影響」を主因として1,124百万円の減収となったことによりです。

利益面につきましては、営業利益で前期比371百万円、率にして45.5%の減益となる442百万円となりました。主力事業の調剤薬局事業において、セグメント利益が前期比マイナス288百万円となったこと、物販事業でも薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の損失が拡大したことを主因として前期比179

代表取締役執行役員社長
岩崎 哲雄



百万円の減益となったことなどが原因であります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、ただ今ご説明した減益要因に加え、前期は、薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の取得に伴う負ののれん発生益590百万円を計上したこと、また財務の健全化を目的とした減損処理を進めたことにより、375百万円減益の7百万円となりました。

Q. 次期(平成29年6月1日～平成30年5月31日)の業績予想について教えてください。

売上高につきましては、前期比3.1%増の1,650百万円増収となる54,600百万円を予想しております。これは調剤薬局事業で、今期もC型肝炎薬の売上減少を想定するものの、M&Aにより取得した店舗の売上が加わることや技術料の算定拡大により1,580百万円増加すると予想し、また薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社が14ヶ月決算から今期は12ヶ月決算となりますが、増収を見込み、物販事業においても22百万円の増収を想定していることによりです。

利益面においても、前期比129.2%増益の1,015百万円を計画しています。これは調剤薬局事業では只今ご説明したこと

を理由として、288百万円の増益を見込んでおり、また、物販事業においても、薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の収益の大幅回復を想定していることから、前期比で332百万円の改善を計画していることなどによりです。

以上から、平成30年5月期の業績は、売上高が54,600百万円、営業利益は1,015百万円、経常利益は566百万円増益の890百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が198百万円増益の205百万円と予想しております。

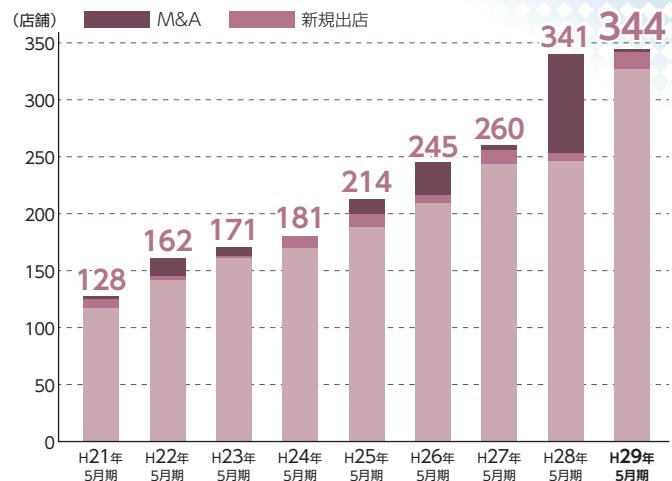
Q. 最後に次期に向けて注力することについて教えてください。

次期は、「投資家の皆様に選ばれる」会社を目指すことはもちろんのこと、中期経営計画に掲げております「患者や利用者を選ばれる」「健康保険制度外事業の拡大」を、更に強力に推進するため、引き続き「かかりつけ薬局化の推進」「セルフメディケーション・サポート店舗の展開」を進めるとともに、「薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の積極展開」「従来からの調剤薬局店舗における物販の強化」に注力してまいります。

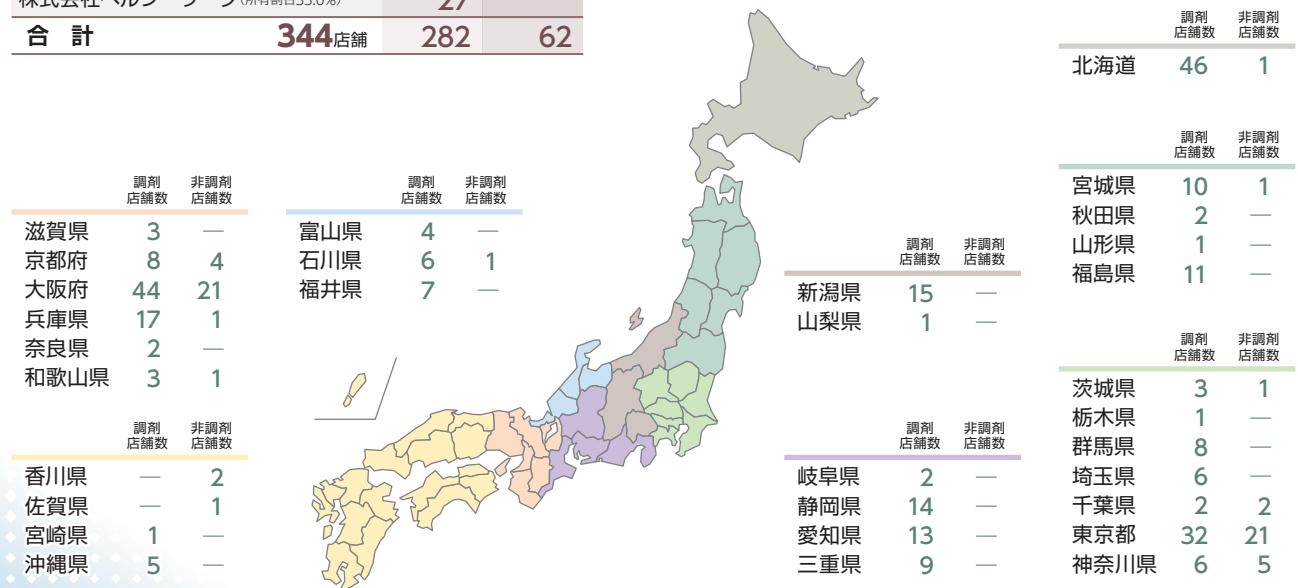
■グループ体系(平成29年5月末現在)

連結子会社	調剤店舗数	非調剤店舗数
ファーマライズ株式会社 <small>(株式会社レイケアセンターを含む)</small>	83	—
東海ファーマライズ株式会社	44	—
株式会社双葉	8	—
北海道ファーマライズ株式会社	48	1
株式会社テラ・ヘルスプロモーション	8	—
新世薬品株式会社	16	—
株式会社寿データバンク	—	—
株式会社鬼怒川調剤センター	1	—
株式会社エシックス	15	—
株式会社ドゥリーム	5	—
薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社	14	60
株式会社フォーユー	5	—
株式会社エム・シー	7	1
有限会社イノセ商事	1	—
持分法適用会社	調剤店舗数	非調剤店舗数
株式会社メディカルフロント <small>(所有割合42.1%)</small>	—	—
株式会社ヘルシーワーク <small>(所有割合35.0%)</small>	27	—
合計	344 店舗	282 / 62

■グループ店舗数の推移



■都道府県別出店状況(平成29年5月末現在)



■「ショッピングプラザ森の風」を開業

東日本大震災による津波の被害を受けた宮城県東松島市野蒜・東名地区。その集団移転先となる「野蒜北部丘陵団地」に、当社グループが運営する「ショッピングプラザ森の風」が開業いたしました。

当施設は、「ミニスーパー+調剤薬局+コミュニティスペース」を併設した複合商業施設です。食料品や日用雑貨等のミニスーパーや、地元生産者からの生鮮品などを取り揃えた直売コーナーのほか、一般用医薬品も取り扱う調剤薬局を併設し、地域のみなさまの日常生活と健康を両面から支えています。

また、コミュニティスペースは、健康相談会を実施したり地域のみなさまの憩いの場所としてご利用頂けます。

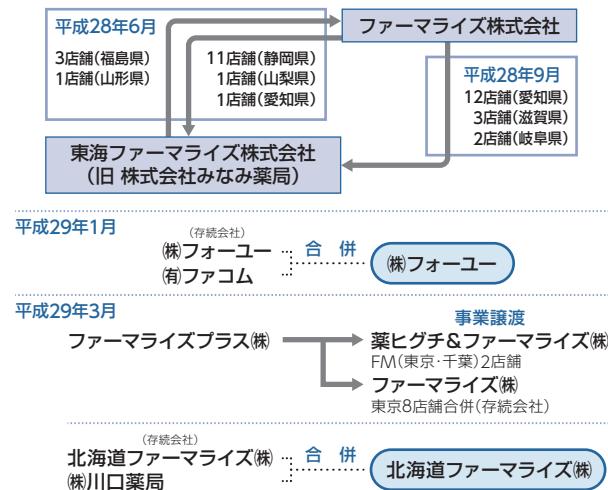


施設概要

- 店舗名称: ショッピングプラザ森の風 (調剤薬局: ファーマライズ薬局のびるが丘店)
- 事業主体: ファーマライズ(株)
- 所在地: 東松島市野蒜ヶ丘二丁目37番2号
- 開業日: 平成29年6月3日(土) ※調剤薬局は6月5日(月)

■組織再編

経営効率の向上を図るため、平成28年6月、平成28年9月、平成29年1月及び平成29年3月に下記の通り連結子会社店舗の再編を行いました。



■開局・出店7店舗(連結ベース)

平成29年5月期は、調剤薬局9店舗、ドラッグストア5店舗を開局・出店いたしました。

調剤薬局店舗	ドラッグストア店舗
平成28年	平成28年
6月 三光町店(北海道)	6月 幡ヶ谷店(東京都)
7月 春日部店(埼玉県)	9月 中野新橋駅前店(東京都)
9月 住吉駅前店(兵庫県)	
10月 江口店(沖縄県)	
平成29年	平成29年
2月 すみれ薬局(埼玉県)	1月 恵比寿アメリカ橋店(東京都)
2月 恵愛調剤永山店(北海道)	2月 京急蒲田店(東京都)
4月 見沼店(埼玉県)	3月 京橋駅東店(大阪府)
4月 西金沢店(石川県)	
4月 谷町二丁目店(大阪府)	

連結決算概要

連結貸借対照表について

資産合計は245億40百万円で前期末比11億26百万円の減少となりました。この理由は、売上債権流動化の額が増加したことにより、売上債権が14億29百万円減少した一方で、M&Aや新規出店に伴う在庫が2億85百万円増加したこと、並びに現預金が4億1百万円増加したことによるものです。

負債合計は186億39百万円で前期末比7億90百万円減少いたしました。この主因は、買掛金が4億53百万円、1年内償還予定社債・長期借入金が4億95百万円減少した一方、長期借入金が1億58百万円の増加となったことによるものです。

純資産につきましては、残高は59億円となり、前期末比3億36百万円減少となっております。この主な要因は、非支配株主持分が2億56百万円減少したことと、配当金1億26百万円の支払いによるものです。

連結損益計算書について

当連結会計年度における業績は、売上高は529億49百万円、営業利益は4億42百万円、経常利益は3億24百万円となりました。

売上高につきましては、平成28年4月の調剤報酬改定と薬価改定の影響がありましたが、前連結会計年度に新たに当社グループに加わった薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の通年寄与により増収いたしました。

利益面では、平成28年4月の調剤報酬改定と薬価改定の影響及び物販事業が引き続き採算改善の途上にあること、並びに新卒採用、研修等の本部費用の増加を主な要因として、営業利益は減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比で減益の7百万円となりましたが、その主な要因は、前期に薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の連結子会社化により負のれん発生益5億90百万円を計上したことによりです。

連結キャッシュ・フロー計算書について

営業活動の結果増加した資金は、21億3百万円(前年同期は2億72百万円の支出)となりました。この主な要因は税金等調整前当期純利益を1百万円、減価償却費6億37百万円、のれん償却額を6億56百万円計上し、売掛債権が16億34百万円減少した一方で、仕入債務が6億48百万円減少し、法人税

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	平成29年5月期 (平成29年5月31日現在)	平成28年5月期 (平成28年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	8,361	9,071
固定資産	16,169	16,580
有形固定資産	7,011	6,915
無形固定資産	6,170	6,419
投資その他の資産	2,988	3,244
繰延資産	9	14
資産合計	24,540	25,667
負債の部		
流動負債	9,801	10,736
固定負債	8,838	8,693
負債合計	18,639	19,430
純資産の部		
株主資本	5,342	5,445
資本金	1,174	1,166
資本剰余金	1,160	1,152
利益剰余金	3,008	3,126
その他の包括利益累計額	△12	△21
新株予約権	112	97
非支配株主持分	458	715
純資産合計	5,900	6,237
負債及び純資産合計	24,540	25,667

等の支払額が4億85百万円となったこととあります。

投資活動の結果使用した資金は、8億71百万円(前年同期比97百万円増加)となりました。この主な要因は、新規開局等に伴う有形固定資産の取得が5億63百万円、貸付による支出が2億19百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出を3億36百万円計上した一方で、貸付金の回収による収入が2億8百万円あったことによるものであります。

財務活動の結果減少した資金は、8億16百万円(前年同期は4億92百万円の収入)となりました。この主な要因は、長期借入金の純減額が2億48百万円となり、社債の償還による支出が2億64百万円、リース債務の返済による支出が1億76百万円、配当金の支払いが1億25百万円があったことによるものであります。

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	平成29年5月期 (平成28年6月1日から 平成29年5月31日まで)	平成28年5月期 (平成27年6月1日から 平成28年5月31日まで)
売上高	52,949	48,511
売上原価	45,731	41,581
売上総利益	7,218	6,929
販売費及び一般管理費	6,775	6,116
営業利益	442	813
営業外収益	193	180
営業外費用	312	334
経常利益	324	659
特別利益	64	606
特別損失	387	241
税金等調整前当期純利益	1	1,024
法人税、住民税及び事業税	453	532
法人税等調整額	△202	122
当期純利益又は当期純損失	△249	369
非支配株主に帰属する当期純損失	△257	△12
親会社株主に帰属する当期純利益	7	382

連結株主資本等変動計算書(要約)

(平成28年6月1日から平成29年5月31日まで)

(単位:百万円)

科目	株主資本			株主資本 合計	その他の包括利益累計額			新株 予約権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
平成28年6月1日残高	1,166	1,152	3,126	5,445	2	△23	△21	97	715	6,237
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	7	7		15						15
剰余金の配当			△126	△126						△126
親会社株主に帰属する当期純利益			7	7						7
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					△0	9	9	15	△256	△232
連結会計年度中の変動額合計	7	7	△118	△103	△0	9	9	15	△256	△336
平成29年5月31日残高	1,174	1,160	3,008	5,342	1	△14	△12	112	458	5,900

個別決算概要

■単体貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	平成29年5月期 (平成29年5月31日現在)	平成28年5月期 (平成28年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	2,129	2,194
固定資産	12,342	12,030
有形固定資産	241	256
無形固定資産	148	220
投資その他の資産	11,953	11,553
繰延資産	9	14
資産合計	14,481	14,240
負債の部		
流動負債	2,874	3,203
固定負債	7,582	7,198
負債合計	10,457	10,402
純資産の部		
株主資本	3,912	3,740
資本金	1,174	1,166
資本剰余金	1,241	1,234
利益剰余金	1,496	1,339
新株予約権	112	97
純資産合計	4,024	3,837
負債及び純資産合計	14,481	14,240

■単体損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	平成29年5月期 (平成28年6月1日から 平成29年5月31日まで)	平成28年5月期 (平成27年6月1日から 平成28年5月31日まで)
売上高	602	644
売上原価	0	0
売上総利益	602	644
販売費及び一般管理費	285	370
営業利益	316	273
営業外収益	265	372
営業外費用	115	158
経常利益	466	487
特別損失	93	155
税引前当期純利益	372	332
法人税、住民税及び事業税	100	92
法人税等調整額	△11	11
当期純利益	282	228

会社概要

■会社概要(平成29年5月31日現在)

設 立	昭和59年6月
社 名	ファーマライズホールディングス株式会社
資本金	1,174,328千円
本店所在地	東京都中野区中央一丁目38番1号
主な事業内容	持株会社(調剤薬局事業などを営むグループ会社を統括する管理運営会社)
ホームページ	https://www.pharmarise.com/
主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社横浜銀行 他
連結従業員数	1,884名(非常勤含む)

■役 員(平成29年8月24日現在)

代表取締役会長	大 野 利美知
代表取締役執行役員社長	岩 崎 哲 雄
専務取締役執行役員	秋 山 昌 之
取締役(社外)	尾 中 哲 夫
取締役(社外)	渡 邊 則 夫
取締役(社外)	多 田 宏
常勤監査役(社外)	西 郷 理 夫
常勤監査役	小 高 芳 夫
監査役(社外)	佐 藤 勝

■株式の状況(平成29年5月31日現在)

発行可能株式総数	31,398,000株
発行済株式総数	9,039,050株
株主数	7,526名

■大株主の状況(平成29年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大野 利美知	3,159,900	35.0
中北薬品株式会社	396,000	4.4
株式会社バイタルネット	396,000	4.4
株式会社ほくやく	396,000	4.4
ファーマライズ従業員持株会	338,700	3.7
大野 小夜子	275,740	3.1
エア・ウォーター株式会社	150,000	1.7
日医工株式会社	150,000	1.7
平松 仁	132,000	1.5
明治安田生命保険相互会社	100,000	1.1

■主要仕入先

アルフレッサ株式会社	中北薬品株式会社
岩瀬薬品株式会社	株式会社バイタルネット
株式会社スズケン	株式会社ほくやく 他

■主要な連結子会社(平成29年5月31日現在)

名 称	住 所	事業内容
ファーマライズ株式会社	東京都中野区	
東海ファーマライズ株式会社	愛知県名古屋	
株式会社双葉	京都府京都市	
北海道ファーマライズ株式会社	北海道苫小牧市	
株式会社テラ・ヘルスプロモーション	大阪府大阪市	
新世薬品株式会社	兵庫県淡路市	調剤薬局事業
株式会社鬼怒川調剤センター	栃木県日光市	
株式会社エシックス	新潟県新潟市	
株式会社ドウリーム	沖縄県沖縄市	
株式会社フォーユー	福井県福井市	
有限会社イノセ商事	埼玉県所沢市	
株式会社エム・シー	宮城県仙台市	
薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社	東京都中野区	物販事業 他
株式会社寿データバンク	栃木県足利市	医学資料保管・管理事業